

2015年9月25日

2015年度第3回研究会（通算第60回）

症例報告

エンゼルペットクリニック 名越譲治

皮下組織に発生した多数の自己免疫性無菌性血腫を漢方薬で治療した症例

- この血腫は特発性無菌性結節性皮下脂肪組織炎という自己免疫性疾患であるという診断で、治療にはステロイド、免疫抑制剤が推奨されています。しかし、本症例には裂開創があり、ステロイド等を使用すれば創傷の治癒を妨げると予想されました。そこで免疫を抑制しない方法で治療を進めることとし、漢方製剤とホメオパシーを採用しました。
- 止血と創傷治癒という視点からホモトキシコロジー製剤である **Traumeel** を採用しました。
- 中医学的には気虚血瘀と診断し、治法は活血化瘀としました。最初は西伯利亜を投与しましたが、効果が弱く、快元を追加し、さらに桂枝茯苓丸を加えたところようやく治癒に至りました。寧心も考慮しましたが、出血が悪化する可能性があり除外しました。
- 本症例を通して瘀血という病理状態を改善することの困難さと、改善に長期間を要することを経験しました。発症から3ヶ月を経過した今も裂傷は治癒しておらず、洗浄とガーゼ交換を繰り返しています。結節は消失しましたが何らかの免疫系の異常があることが示唆されます。

製品紹介

ドリトル動物病院 綿貫和彦

愛犬 愛猫用ミネラルウォーター メディカルワン

次回の研究会は平成27年11月27日の予定